

## 令和7年度 東京都立東久留米総合高等学校 全日制課程 学校経営報告

### 1 今年度の取組目標と自己評価

『全ての取組目標が、学校満足度80%以上を達成することに繋がるよう改善を図る。』  
数値目標達成度（今年度実績/目標値） 学校満足度（64/80%）

#### 目標1 キャリア教育

- ① 総合学科高校として、生徒一人一人の多様性を尊重した。令和6年度からの「ここで私をデザインする」というキャッチフレーズも浸透してきた。様々なキャリア教育に係る指導を、全教職員が組織的に行うことを目指し、総合型受験では指導効果が表れており、生徒の可能性を引き出している。
- ② 進路行事・講演会・説明会・体験活動等を精査しつつ充実を図った。キャリアデザイン部中心に組織的な指導を目指した。1年次の「産業社会と人間」では「自分探し」を、2年次の「人間と社会」では「社会との関わりから具体的に考える自己実現」を、3年次の「課題研究」では「未来の自分と夢の実現ための探究」と3年間の体系を整理し共有化を図った。また全国総合学科教育研究大会に担当者2名を派遣し、研修成果を共有した。他行のNPOの活用も参考にしながら、教員の負担軽減や、指導の質の均一化を検討してもよい。
- ③ 課題研究のより一層の充実を図った。提携している嘉悦大学から指導者を招き課題研究成果発表会の講評を実施した。生徒の今後のキャリアにおいて自身の強みとなる支援に繋がった。その後の総合学科成果発表会では代表生徒の発表が注目された。続けて都の新しい事業であるTIPSフォーラムでのポスター発表にも取り組ませ、生徒の成長にも繋がった。続く学年の生徒へも生かして行きたい。
- ④ 総合学科の特色である選択科目の充実を図るため、科目の設定を精査しつつ抽選を極力廃し、生徒の選択希望が実現するよう開講講座を増やした。
- ⑤ 進路関係の校内研修を3回実施し、進路情報の共有や模擬試験の結果等の分析・活用について、有意義な研修となった。学年ごとの生徒の特色を把握し、進路実現を図るため、今後も継続する。
- ⑥ 一層の基礎学力向上に向けて、オンライン個別学習や、模擬試験の実施・分析をした結果を活かし、より効果的な活用を目指す必要がある。
- ⑦ 学習支援クラウド等を活用についても、より積極的な活用が望まれる。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 国公立大学（1/3人）、難関私立大学（1/2人）、  
GMARCH（1/10人）、成成明学獨國武（5/20人）、日東駒専（12/40人）、  
公務員（1/2人）、進路決定率（92.4/95%）

#### 目標2 学習活動

- ① 生徒の実態に応じて、主体的・対話的で深い学びを効果的に実践し、協働的な学びを推進した。生徒が積極的に授業参加する姿が見られた。
- ② ICT機器や生徒一人1台端末を活用し、個別最適な学びを推進し、より効率的で効果的な授業展開を目指した。緊急の学級閉鎖などの際にもオンライン学習に対応できた。
- ③ 学校評価アンケートでの「授業満足度の肯定的回答率は、令和6年度の57.8%から53.5%へと4.3ポイント下がった。生徒による授業評価アンケートについて、その結果をより授業に反映させる必要がある。一つ一つの課題を解決していく必要がある。今後、管理職と授業担当者としてアンケート結果を共有しながら改善を図っていく。今後も一時間一時間の授業を大切に、教材研究等の自己研鑽

を進めていく必要がある。

- ④ 若手教員育成研修や中堅教諭資質向上研修、全定合同授業相互見学の機会を通じて、全教員の授業力向上を図った。特に全定合同授業相互見学では若手教員育成研修に当たる研究授業への全定の教員の参加が増加し、課程を超えた研究協議への参加があった。一層の参加者増加を目指したい。
- ⑤ 生徒のキャリア実現のための、長期休業中における講習をすべての年次で実施した。2週間前指導について両論あるが、定着しつつもあり、継続していきたい。さらに放課後等の講習・補講の活性化を図っていきたい。
- ⑥ 英語力向上のため、英語4技能テストの全校受験を実施した。次年度も実施を目指す。
- ⑦ 定期考査で同一講座を共通問題とし、同一講座担当者間での教材の共有化が一層推進した。
- ⑧ 採点システム等を活用しながら効率化を図り、全教科において3観点に基づく評価を実施し、点検した。今後評価の調整をさらに進めながら、一層の指導と評価の一体化を目指す。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 実用英語検定 2級（12/40人）、準2級（59/50人）  
授業満足度（53.5/80%）

### 目標3 生活指導

- ① 社会人としてのマナーやTPOについて、理解を深めさせ、適切な判断ができるよう指導した。登下校時のマナーについては、特に危険な自転車の走行について、より改善の必要がある。
- ② 頭髪や服装等の身だしなみ指導を徹底し、生徒の規範意識を向上させてきたが、指導の足並みがそろい全校体制となるには一層の協力が必要である。
- ③ ノーチャイム制により時間を守る習慣づけは進んでいる。期限を守ることの重要性についても理解を深めさせているが、一部に課題を残している。一層自律的な行動の意識向上を図る必要がある。
- ④ 教育相談委員会を時間割内に設定し14回開催した。セーフティー教室も含め、生命尊重の態度を育成し、日常の生徒観察とポジティブな声掛けを行い、生徒情報の校内共有体制を維持し生徒からの相談体制についてはスクールカウンセラーの複数配置による効果が生まれている。一層スクールカウンセラーや外部機関との連携も深めながら生徒の生命を守っていく必要がある。
- ⑤ 暴力や体罰の禁止・根絶について、校内研修を通じて学校全体で共有・徹底し、安全で安心な学校を維持することができた。引き続き注意深く取り組んでいく。
- ⑥ いじめ対策について、いじめアンケートを用紙による年3回の実施とし、生徒の言動・行動に注意を払い、組織的な情報共有を通して、未然防止・早期発見・早期対応に努めた。些細な事件でもいじめの要素を見落とさず対応できた。
- ⑦ 交通ルールを守る指導を重視し、事故を起こさせない、事故に遭わせない。
- ⑧ 安全教育プログラムに従い、外部機関の協力を得てセーフティー教室を実施し、危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成に努めた。また、互いの人権を認め合い、自他の生命と人権を尊重する態度を育くんだ。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 年間遅刻延べ回数（3,572/3,000回）  
自転車による交通事故（1/0件）

### 目標4 特別活動

- ① 生徒会活動・委員会活動を支援し、生徒自身の自主的・自律的な活動を充実させた。生徒にも自主性を重視する姿がはっきりと表れており、部活着登校の実現など、生徒の意見を吸い上げ実現に向け活動した。
- ② 体育祭、文化祭、合唱コンクール、球技大会などの行事でも、昨年度の成果をベースとし、生徒の主体的な活動が活性化しており、一層の自律した運営が推進されるよう指導・支援していく。
- ③ 週当たり2日以上休養日を設けることがやや調整できていないケースが見られる。引き続きガイ

ドラインに沿って1日の活動時間を守り、連続した活動が負荷をかけないように指導していく。部顧問の指導体制についても、土日祝の活動の担当に、可能な限り偏りのないよう調整する。

- ④ スポーツ志向を醸成し、体力の向上と競技力向上を推進した。また、部活動外部指導員を積極的に活用した。指導の専門性を高めるために積極的に活用し、部顧問の負担軽減を図った。
- ⑤ 海外学校間交流推進校として国際理解教育の活性化を目指した。東京グローバルフレンドシッププログラムによりニュージーランドから8名の高校生を迎え生徒会役員他、バディ生徒を中心に歓迎プログラムを実施し生徒の興味関心を高めた。また高校生海外派遣研修でアメリカへ4人の生徒を送り出し、国際交流のみならず、探究的な学びとしても成果を上げ、全校生徒と共有することができた。今後も海外の高校との交流を推進するため、グローバル教育部を中心に、海外語学研修や海外修学旅行の実現を目指す。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 部活動加入率（103.3/100%）

#### 目標5 保健活動

- ① 学校保健計画を立案し、学校全体で生徒の健康づくりに取り組んだ。健康・安全指導及び怪我・疾病、アレルギー等に対する対応の充実を図るため情報共有を図り、エピペンについて研修するなどした。
- ② 感染症への対応は、消毒液などの予防対策を維持し、状況の変化に対応できるようにしたが、インフルエンザの感染拡大もあり、感染初期の対策の必要性が高まった。
- ③ 教育相談委員会を生活指導部主導によるものとし、管理職、特別支援コーディネーター、保健相談部、各年次、スクールカウンセラーによって構成し、2週に1回の定期開催を実施した。生徒情報を共有し、対応を検討した。
- ④ 特別な支援を必要とする生徒について、関係機関等との連携を図りながら対応した。

#### 目標6 広報活動

- ① 全職員が総合学科である本校の特色と魅力を理解し、「ここで私をデザインする」をキャッチフレーズとして統一し、学校全体ですべての広報活動を組織的に実施した。中進対倍率は昨年1.29倍であったところ1.2倍となった。目標を下回ったものの全般的な都立離れの中、健闘した。
- ② 学校見学会、学校説明会、都立EXPO、個別相談会、授業公開、出張授業、体験授業等を、総務部の統括の下、経営企画室を含めた全教職員体制での計画的・組織的な運営に取り組んだ。来場者数は令和6年度2,326人に対し令和7年度2,310人と減少したが、概ね好調だった。
- ③ 学校案内の編集や学校見学会、学校説明会は、広報委員生徒による主体的な運営により生徒の魅力が伝わるよう、指導・支援する一方、相談コーナーで教員との個別相談を用意するなど、教員と広報委員によるバランスを取った。
- ④ 中学校の上級学校説明会等に積極的に参加した。負担軽減と応募状況のバランスは取れたと考えられる。
- ⑤ 部活動や生徒の様子を中学生に理解してもらうために、体験部活動を組織的に行った。
- ⑥ 中学生とその保護者への授業公開は、土曜授業時で年3回実施した。
- ⑦ ホームページの更新頻度はやや向上したが、目標には届かなかった。公式Instagramの閲覧数は伸びている。今後もSNSや動画等のコンテンツの充実を図る。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 入学者選抜推薦募集倍率（2.71/3.0倍）、  
1次応募倍率（1.42/1.50倍）、来校者数（2,310/4,000人）、  
ホームページ・SNS更新回数（全定合算）（205/300回）

#### 目標7 学校間連携や地域との連携を図る

- ① キャリア教育や進路指導において、上級学校と連携を密にして生徒の希望進路の実現を図った。嘉悦大学との高大連携により3年時の課題研究の講評を実現した。
- ② 地域の小中学校や施設・団体等との連携を積極的に行い、地域に信頼される学校を目指した。選択授業での保育体験や、部活動の地域行事への参加をはじめとしたボランティア活動は11件になった。今後も機会を増やしていく。
- ③ 年4回の避難訓練等で、東久留米消防署・東久留米市役所・日本赤十字社・地域の防災組織等と連携した。生徒の防災安全意識の向上を図るためHUGカードによる避難所設置のシミュレーション体験などに取り組んだ。地域防災安全の役割を担えるよう、地域との合同防災訓練の実施を目指す。
- ④ 学校施設開放計画を東久留米市教育委員会や地域スポーツ団体との協力をもって作成し、管理・運営した。サッカーやテニスの団体への開放を実現している。市民講座にも取り組んだ。

#### 目標8 学校経営・組織体制（ライフ・ワーク・バランス）

- ① 企画調整会議を機能させ、分掌会議との双方向性を維持し、確実な情報共有をすることにより、全教職員の経営参画意識を高めた。企画調整会議終了後、平日2日以内に分掌内回覧完了は概ね達成できた。
- ② 分掌間及び教科について定時制との連携や、校内の調整図った。年間行事計画の並記などに取り組んだが、効率化や労働時間の短縮には至らなかった。
- ③ 分掌や教科等の計画的で組織的な業務遂行によって、効率化による労働時間の短縮を図ったが、勤務時間外の在校時間が月四十五時間超の教職員は昨年度の91%にとどまり根本的な解決はできていない。
- ④ 長期休業期間を「年休取得促進期間及び定時退庁促進期間」とし、超過勤務時間の縮減を目指したが、いまだPRが不十分である。継続的な取り組みとする。
- ⑤ 分掌や教科等において、新規採用者に対し計画的・組織的にOJTに取り組みメンター制度も活用したが、1名の退職者があった。
- ⑥ TAIMSポータルを有効活用し、校内の情報伝達及び共有を迅速かつ確実に行うことにより、業務の効率化を図った。レイアウトの改善し利便性を向上させた。
- ⑦ 服務事故を根絶するため、校内研修により服務の厳正を徹底し、学校運営の適正化に常時努めた。学校評価アンケートなどによる生徒や保護者の声や都民の声も注視して、積極的に対応していく。
- ⑧ 全定の連携によるスムーズな学校運営を図るため、副校長間で連携し、常に1ヶ月前までに行事予定等を調整し、効率的な施設の活用と、安心して安全な生徒指導体制を構築した。連絡会を必要に応じて開催した。週1回の全定管理職打ち合わせの実施が望まれる。

#### 目標9 経営企画室体制

- ① 学校経営計画や予算編成指針に基づき、課題意識を常にもち、積極的に学校経営に参画するよう努めた。限られた予算を計画的・効果的に執行するよう教職員の連携に努めた。
- ② 学校の総合窓口として電話対応や来校者に対して、丁寧な対応ができた。
- ③ 業務全般を理解するとともに、教員と連携・協力しながら業務を遂行して、担当部署のスキルアップを図った。また、委託業者の職員（環境整備職員）等との報告・連絡・相談を密に取りながら、学校教育に支障のないように努め、学習環境の改善を図った。敷地内の未整備個所が大きく減少し環境美化が進んだ。
- ④ 学校広報活動には積極的に参画し、要覧及び学校案内等の作成に関し教職員と協力できた。

数値目標達成度（今年度実績/目標値） 一般需要費のセンター契約集約率（56/50%）